

3月13日 東京高裁が再審の可否を決定

今度こそ

# 誤った裁判のやり直しを

## 「袴田事件」高裁決定報告集会

とき

2023年3月14(火) 正午～

参加無料

ところ

参議院議員会館 B107 会議室

正面玄関ロビーで入館証を配布します

1966年の殺人放火事件の裁判で死刑判決を受け、冤罪死刑囚とされた袴田巖さん。半世紀が経ち、有罪判決の決め手となった証拠が警察の捏造だったことが判明しました。この誤った裁判をやり直すかどうか、3月13日午後2時に東京高裁が判断を示します。袴田さんを死刑判決のくびきから解放し、名誉と尊厳を回復するためには、再審無罪判決が必要です。決定について弁護団が報告します。ぜひご参加ください。

袴田事件弁護団制作「凍りついた魂」より  
おだやかな表情を見せる袴田巖さん

報告 袴田事件弁護団

訴え 袴田巖死刑囚救援議員連盟

布川事件 桜井昌司さん 東住吉事件 青木恵子さん

映画監督 周防正行さん

日弁連再審法改正実現本部本部長代行 鴨志田祐美さん

元法務大臣・死刑をなくそう市民会議運営委員長 平岡秀夫さん

袴田巖さんの姉 袴田秀子さん

ボクシング関係者 国会議員の皆さん 他

主催 袴田事件弁護団

袴田巖さんの再審無罪を求める実行委員会

袴田巖さんの再審無罪を求める実行委員会

連絡先

日本国民救援会 ☎03-5842-5842 瑞慶覧(ずけらん)  
アムネスティ・インターナショナル日本 info@amnesty.or.jp

アムネスティ・インターナショナル日本/日本国民救援会/日本プロボクシング協会袴田巖支援委員会/袴田巖さんの再審を求める会/袴田巖さんを救援する清水・静岡市民の会/袴田巖さんを救援する静岡県民の会/袴田さん支援クラブ/浜松・袴田巖さんを救う市民の会/無実の死刑囚・袴田巖さんを救う会

# 誤った裁判の呪縛から袴田さんを解放しよう



最終意見陳述を終えた後に会見する弁護団 (2022年12月5日)

2014年3月、静岡地裁の村山浩昭裁判長は、弁護団のDNA鑑定やみそ漬け実験を採用し、警察による「5点の衣類」の証拠捏造を認め、再審開始と死刑及び拘置の執行停止を決定。袴田さんを釈放しました。袴田さんはいま、長年支えてきた姉の秀子さんと共に浜松で暮らしています。逮捕されて以降57年間の拘禁と恐怖によって袴田さんは精神的変調を来し、今もなお心を閉ざしたままです。「巖に効く薬は無罪判決しかない」と言う秀子さん。間もなく袴田巖さんは87歳、秀子さんは90歳。二人の人生を踏みにじった間違った裁判による冤罪を晴らす最後の機会です。

【袴田事件】1966年、強盗殺人・放火事件の犯人として袴田巖さんが疑われた。袴田さんは犯行を否定していたが、連日平均12時間を超える過酷な取り調べによって自白を強要された。裁判では一貫して無実を主張。しかし、事件から1年2カ月後に、みそ工場のタンクから血の付いた5点の衣類が「発見」され、血液型が袴田さんや被害者の血液型と一致したなどとして死刑判決となり、確定した。第2次再審請求で2014年、静岡地裁で再審開始と刑の執行停止が決定し、袴田さんは釈放された。即時抗告審で東京高裁は再審開始決定を取り消したが、2020年、最高裁が高裁決定を取り消し審理を差し戻し。差し戻された東京高裁では、味噌に1年2カ月漬けられた犯行着衣の色の変化のメカニズムを解明することが求められ、弁護団は実証実験で科学的に証明。検察が独自に実施した実験も弁護団の主張を裏付ける結果となった。

**YouTube 生配信**  
<http://kyuenkai.org/0314>



会場へのアクセス

永田町駅 2番出口

徒歩1分

東京メトロ **有楽町線** **半蔵門線** **南北線**

国会議事堂前駅 2番出口

徒歩9分

東京メトロ **丸の内線** **千代田線**



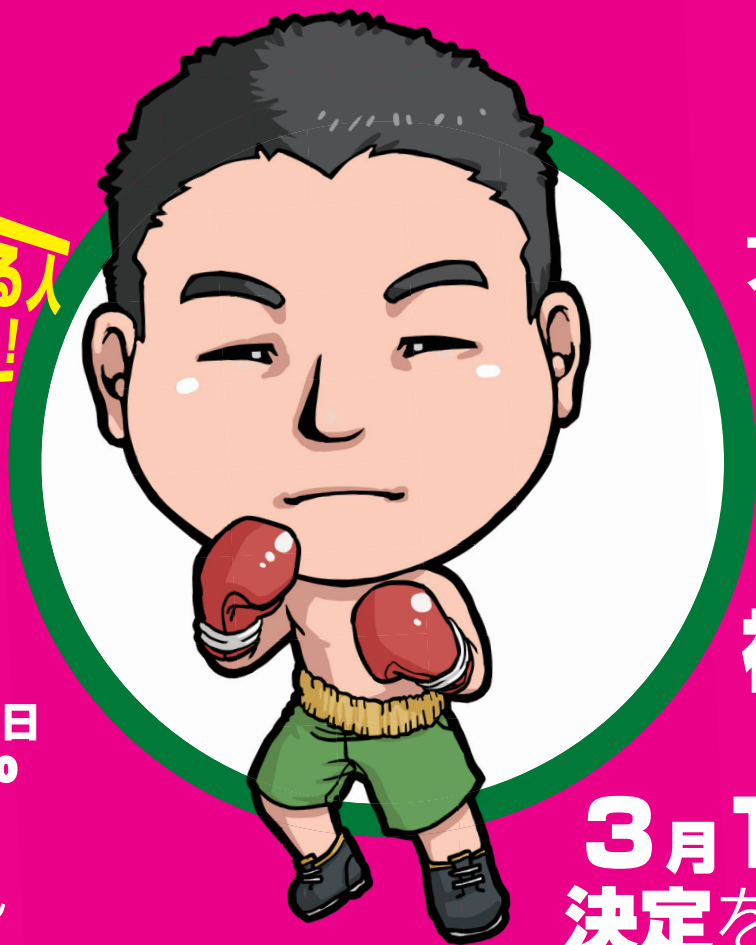
東京都千代田区永田町1丁目1-1 (衆議院のホームページより)



# 袴田さん

# 応援大会

応援する人  
集まれっ!



大会開催は決定後の週末

**3.19** 日曜日  
午後 1:30 ~ 4:00

日本の司法の  
問題点を共有し

袴田さんに真の自由を  
司法の未来に希望を

アクトシティ

研修交流センター  
62 研修交流室  
JR 浜松駅徒歩8分  
(浜松市楽器博物館6階)

ご入場料 **500円**  
受付でお支払いください

袴田事件  
東京高裁が

**3月13日(月)**に  
決定を下します

それは日本の司法が裁かれる日

開会 弁護団報告+袴田さん応援宣言

第一部 講演+激論《日本の司法が裁かれる日》

講師・ファシリテーター 望月衣塑子 記者(東京新聞:映画《i-新聞記者ドキュメント-》主演など)  
激論パネリスト 元裁判官・元検察官・弁護士・刑法学者「法のプロフェッショナル」が参集

第二部 応援メッセージ+ご挨拶

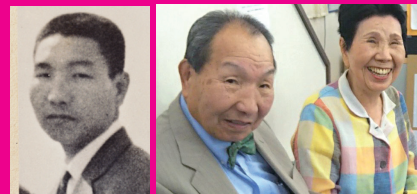
議員・法曹関係者・人権団体・プロボクシング協会・えん罪被害者などからの応援メッセージ  
袴田巖さん・ひで子さん(姉) からお挨拶

主催: 袴田さん支援クラブ / 袴田巖さんを救済する清水・静岡市民の会 / 袴田巖さんを救済する静岡県民の会  
協賛: 日本プロボクシング協会袴田支援委員会 / 日本国民救援会静岡県本部・同中央本部  
無実の死刑囚・袴田巖さんを救う会 / 浜松袴田巖さんを救う市民の会 / アムネスティ・インターナショナル日本

お問い合わせ: 袴田さん支援クラブ・清水 090-3938-3875・info@free-iwao.com



「事件」発生・逮捕から間もなく57年……  
日本の司法に正義と良識があるのか、裁かれる日が迫る



袴田巖さん(左:事件当時・右:近影)と姉ひで子さん

# 袴田さん

# 応援大会

応援する人  
集まれっ!



3.19  
日曜日  
午後 1:30  
～ 4:00

アクトシティ

研修交流センター  
62 研修交流室  
JR 浜松駅徒歩 8 分  
(浜松市楽器博物館の 6 階)

ご入場料 500 円 (受付でお支払いください)

東京高裁が3月13日月曜日に  
再審開始か否か決定を下します

その如何によって日本の司法が裁かれる日となります。正義や良識があれば「再審開始(裁判のやり直し)」です。そうであっても、袴田さんの奪われた半世紀余は戻りません。それでも、心を深く蝕まれた無実の人に、今すぐ真の自由をもたらすのが良心のはたらきはず。また、開始決定が下されても、検察官の不服申立があれば、結局延長戦に。3月13日は、日本の司法がいわば、歴史の法廷に立たされる日なのです。

同時ネット中継も実施!  
www.free-iwao.com  
袴田さん支援クラブ  
で検索



開会 弁護団報告+袴田さん応援宣言

## 第1部 講演+激論《日本の司法が裁かれる日》

講師・ファシリテーター 望月衣塑子 記者(東京新聞:映画『新聞記者』主演など)  
激論パネリスト 元裁判官・元検察官・弁護士・刑法学者 司法のプロフェッショナル

## 望月衣塑子が訊く!

首相官邸を震撼させ、官房長官を憤らせる容赦ない取材力・ツッコみ力で知られる「ザ・新聞記者」望月衣塑子さんが袴田事件と司法の問題について鋭く訊きます。対するは、元裁判官・元検察官・弁護士・刑法学者という司法の裏を知り尽くしたプロフェッショナル。日本の司法の明日のために大いにツッコみ、語っていただきます。

## 第2部 応援メッセージ+ご挨拶

議員・法曹関係者・人権団体・プロボクシング協会・えん罪被害者 などからの応援メッセージ  
袴田巖さん・袴田ひで子さん(姉) からお挨拶

※出演者などは予告なく変更になる場合があります



望月衣塑子 Mochoduki Isoko

東京新聞社会部記者。千葉、神奈川、埼玉の県警、東京地検特捜部などを担当し、2017年から菅官房長官(当時)の会見に出席し、鋭い質問で注目される。自身の著書『新聞記者』が映画化され、日本アカデミー賞の主要3部門を受賞。安保、軍拡、原発、教育、女性問題など幅広い分野で活躍し。著書は『武器輸出と日本企業』『報道現場』共著に『日本解体論』。

元  
検察官



市川 寛 Ichikawa Hiroshi 元検察官・弁護士  
検事を辞し、人権を守ることに半生を捧ぐ

佐賀地方検察庁在職時、農協背任事件でえん罪を生んだ経験を法廷で自ら証言し辞職。捜査機関の「罪」に光をあてた。現在、華鼎(かなえ)国際法律事務所所属。著書に『検事失格』(新潮文庫)、『ナリ検』(日本評論社)など。

弁護士



角替清美 Tsunogae Kiyomi 弁護士・袴田弁護団  
日米の資格を持つ国際派「お母さん弁護士」

袴田裁判の再審請求審では、「DNA型鑑定」による再審開始活動を牽引。近年、米カリフォルニア州の弁護士資格も得た「バイリンガルお母さん」弁護士で、海外の専門家との協働でも活躍。セラ法律事務所。

弁護士



間 光洋 Hazama Mitsuhiro 弁護士・袴田弁護団  
袴田裁判の最前線、「血痕の色」の謎を究明

第二次再審請求で常に焦点となっている「5点の衣類の血痕の色」。この問題の究明に取り組み、最前線で奮闘。「最高裁の宿題」への満額解答を得て、広める任務にも。弁護団の若手の柱の一人。日出町法律事務所。

元  
裁判官



水野智幸 Mizuno Tomoyuki 元裁判官・刑法学者  
人権擁護の誓としての「司法のあり方」を追求

法政大学大学院教授・弁護士(袴田弁護団)。四半世紀の裁判官歴で、事件を直視し、異例の数多い無罪判決を書いた。後進の指導にあたりつつ、朝日新聞での解説やテレビドラマ『イチケイのカラス』の監修などでも活躍。

法学者



宮本弘典 Miyamoto Hironori 刑法学者  
刑法の根源を問い、日本司法の闇に斬り込む

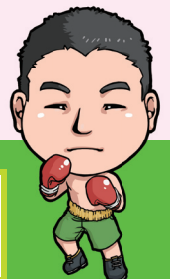
関東学院大学教授。自称「空気を読めない(読まない)法学者」。専門は刑法・刑法史。主な著書に『刑罰権イデオロギーの位相と古層』(社会評論社)、『冤罪・福岡事件とどなった死刑囚の叫び』(共著 現代人文社)など。

しかし、この国の司法をほんとうに変えられるのは  
私たち市民の声しかありません。まず、真実を知ってください。

主催: 袴田さん支援クラブ / 袴田巖さんを救済する清水・静岡市民の会 / 袴田巖さんを救済する静岡県民の会  
協賛: 日本プロボクシング協会袴田支援委員会 / 日本国民救援会静岡県本部・同中央本部 / 無実の死刑囚・袴田巖さんを救う会  
浜松袴田巖さんを救う市民の会 / アムネスティ・インターナショナル日本

お問い合わせ: 袴田さん支援クラブ・清水 090-3938-3875・info@free-iwao.com

袴田  
チャンネル  
YouTube





死刑囚・袴田巖さん87歳、姉・ひで子さん90歳 無罪求めて57年

# 袴田巖さんの 再審開始決定 報告集会

マスク着用の方ならどなたでも参加できます 参加費として500円をお願いします

日時：**3月21日**(火・春分の日) 午後**1時30分**~**4時00分**

場所：**静岡労政会館 6F ホール**

JR 静岡駅北口から線路に沿って 徒歩5分  
公共交通機関を利用して下さい  
近くに有料駐車場があります

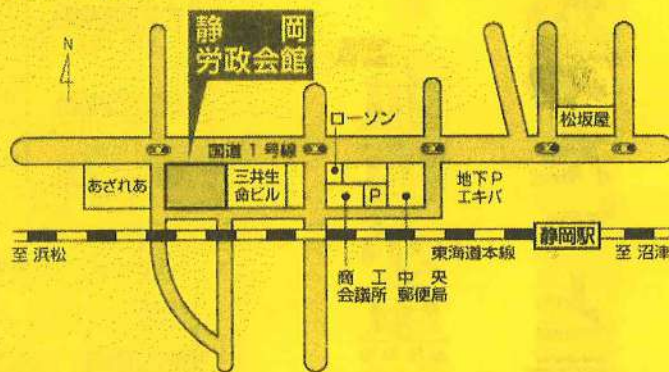
袴田事件弁護団からの報告

東京高裁差し戻し決定書の解説

袴田 巖さんと姉・ひで子さんから

特別ゲスト：映画監督 **周防正行さん**

“それでもボクはやってない” “Shall we ダンス?” など、ヒット作監督の一方  
新時代の刑事司法制度特別部会 委員として、証拠開示など司法制度改革に提言  
「再審法改正をめざす市民の会」共同代表







日弁連再審法改正全国キャラバン

# 袴田事件からみえる再審法の問題点

会場 ▶ 静岡労政会館6階ホール（〒420-0851静岡市葵区黒金町5-1）

日時 ▶ 2023年3月25日（土） 13時30分～16時30分

※駐車場はありません。公共交通機関をご利用ください。

## お申し込み方法

申込期限 ▶ 2023年3月17日（金）正午

○FAXでお申込み

下記に必要事項をご記入のうえ、ご送信ください。

静岡県弁護士会 FAX 054-252-7522

○インターネットでお申込み

下記URL又はQRコードからお申込みください。

<https://forms.gle/6XbL3RBnT9gWVYPY9>



※ オンラインでの配信はありません。

ふりがな	
氏名	
弁護士の方	<input type="checkbox"/> 静岡県弁護士会（沼津・静岡・浜松）支部 <input type="checkbox"/> _____弁護士会 _____支部 修習期 _____期
	電話番号（     ）     —     又は Email
一般の方	電話番号（     ）     —     又は Email